



コミュニティ・スクールだより

～地域 みんなでつくる、彦根の未来～

彦根市教育委員会事務局 生涯学習課

第3号 令和7年9月19日

第2回学校運営協議会の様子をお知らせします! ②

第2号に引き続き、各学校の第2回学校運営協議会の様子をお知らせします。夏季休業中に開催される学校も多くあり、当課から訪問した協議会の様子をお伝えします。



8月6日(水) 金城小学校

学校からは、1学期の子どもたちの様子について「子ども同士のつながり」「地域・保護者とのつながり」という視点から報告がありました。学校と保護者・地域との連携が進み、子どもたちが生き生きと活動している姿を委員で共有できました。後半は、3グループに分かれて、金城学区の課題や今後の展望について熟議しました。これからの地域を担う子どもたちは、今のような力を付ける必要があるか、大人が今できることは何か等、話し合われました。



8月7日(木) 稲枝東小学校

子どもたちの様子やアンケート結果から気になる点を話し合う中で、委員からは、より良い方向へ進めていくための意見が積極的に出されました。4月の第1回会議での意見をもとに、「子どもの支援ボランティア募集」のチラシを作成・配布したことで、新しく参加してくださる方が増え、地域と学校が協働できる場面が増えたとのことでした。

2学期は行事も多く予定されており、学校と地域がつながる場面がさらに増えるよう検討されています。



8月22日(金) 稲枝北小学校

今回の運営協議会は教職員も全員参加する拡大会議でした。学校評価の結果から「自分に自信をもてる子どもを育てるために」をテーマにして、学校・家庭・地域でできることは何かについてグループ別で話し合われました。大切なこととして、子どもができるようになったことを認めほめること、なぜできるようになったのかを分かりやすく伝え、自分の自信につなげていくことなどの意見が出され、充実した熟議の時間となりました。



8月25日(月)
稲枝西小学校

学校からは、1学期の学校評価の結果や子どもたちの様子が委員に共有されました。また、アンケート結果から、児童と保護者のスマートフォンやゲームに対する認識の違いが示され、熟議のテーマとなりました。デジタルセーブについては、自分で時間を決めて実行する力を育むことが大切ではないかとの意見も出されました。いじめや言葉づかい、生活習慣など子どもたちの現状についても意見交換されました。

夏休みの機会を生かして、委員以外の教職員が参加する学校も複数ありました。地域の委員からは「お互いにいろいろな話ができてよかった」との意見もあったそうです。このような機会を設けることで、教員からは「日頃なかなか顔を合わせる時間がない方とも顔合わせでき、2学期の学習や活動に活かしやすくなった」との声も聞かれました。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について市民の方々に啓発するため、生涯学習課では啓発ポスターを作成しています。小・中学校に加え、市内公民館にも掲示しています。

市ホームページ「コミュニティ・スクール」のページからダウンロードも可能です。適宜ご活用ください。



市内全小・中学校がコミュニティ・スクールです！

子どもたちの成長を地域全体で支え、 学校や子どもたち、地域が抱える課題を解決

**コミュニティ・スクール
(学校運営協議会)**

コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。
「学校運営協議会」では、地域の方や保護者、地域学校協働活動推進員等と学校が、子どもたちの教育に必要なことやできることを一緒に考え、学校や子どもたち、地域の課題の解決に向け、話し合います。

一体的に推進

私たちが地域と学校をつなぎ、コーディネートします。

地域学校協働活動推進員

地域学校協働本部

地域学校協働活動は、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動です。また、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。育てたい子どもの姿（目標）を地域と学校が共有して活動を行います。

地域学校協働活動

地域住民

保護者

PTA

施設・団体

社会教育

文化団体

NPO・団体

スポーツ団体

企業

●問合せ先：彦根市教育委員会事務局生涯学習課 Tel. 24-7974 fax 23-9190 E-mail syogai@mx.hikone.ed.jp 彦根市立各小・中学校

学校運営協議会では、どんなことが話し合われているの？

市内の各学校運営協議会で熟議されている内容の一部について、まとめました。「まずは地域の方に学校に来てもらい、参画してもらうこと」を目指して、地域ボランティアを募る効果的な方法について協議・実行したり、大きなテーマ（防災等）を設定して、複数年にわたって子どもたちと地域とのつながりを深めていったりと各協議会の実態に応じて工夫して取り組んでおられます。



- ボランティアを増やすための方法について（チラシの作成など）
- 読書環境を充実させるための、図書ボランティアの拡大について
- PTA活動と地域のボランティア活動との連携について
- 地域のよさを学ぶ学習で地域の方と連携できること
- 地域の資源を活用した学習の進め方について
- スマホ・タブレットの使用等のデジタルセーブについて
- 防災の学習を行う際に、連携できることは
- 一校一行の取組を具体的に進めるために
- 小・中学校の連携を進めるために
- 子どもたちが「～したい」と主体的に取り組めるような活動について
- 地域で気になること（自転車の乗り方等）について、地域でできること
- 子どもの自己肯定感を高めるためにどんなことができるのか
- 異年齢の関わりを豊かにする地域の行事等について
- 地域での「ながら見守り」をどのように進めていくか
- 地域の防災活動を通じた、地域住民と生徒との関わりについて
- 中学生の地域貢献活動について
- 地域住民と協働して行う環境整備活動について
- 地域における子どもたちの活躍の場の提供について
- 10年後の子どもたち、地域はどうあってほしいか
- これからの学校・地域についてどのように変わっていくのか

